

# MailGates - Microsoft 365 連携設定 (受信コネクタの設定)

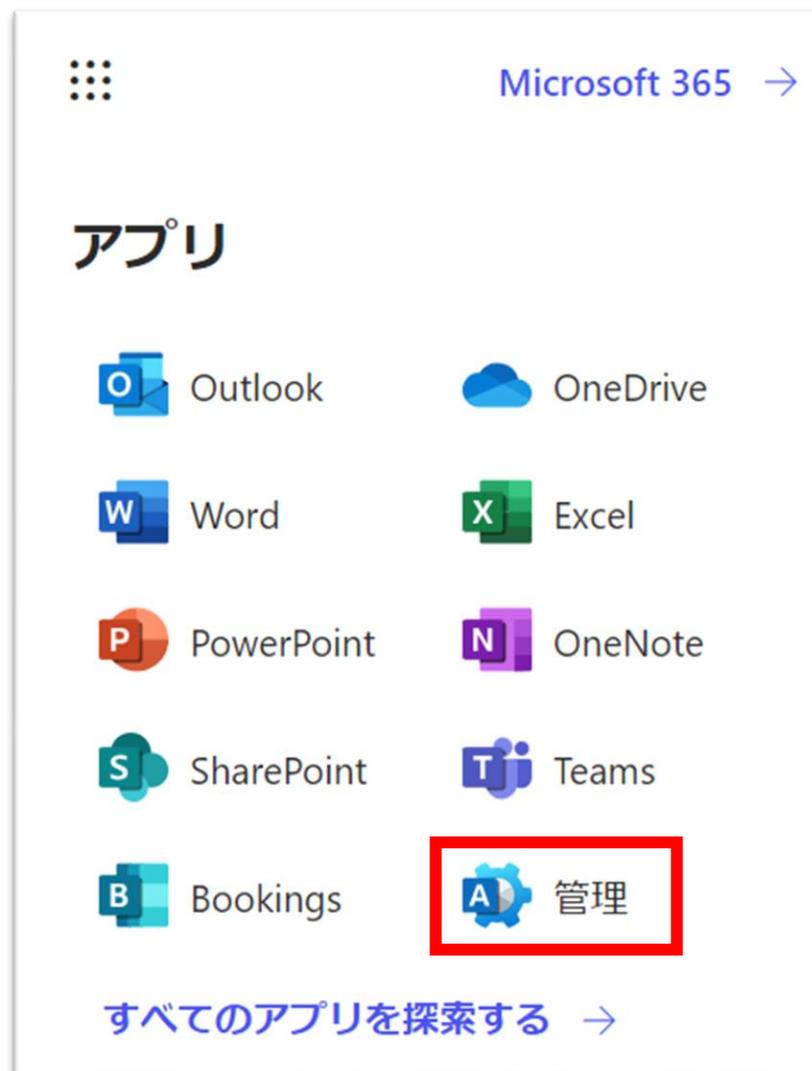
## 注意事項

- Microsoft 365とMailGatesの連携に必要な受信コネクタの設定について説明しています。Microsoft 365側の設定であり、本設定に伴うMailGatesの作業はございません。
- MailGatesを経由してから受信メールをMicrosoft 365にて受信するために必要な設定です。
- なお、本設定のみでは、受信経路は変更されません。MXレコードを変更することで、お客様ドメイン宛てのメールがMailGatesを経由するようになります。

# 設定手順

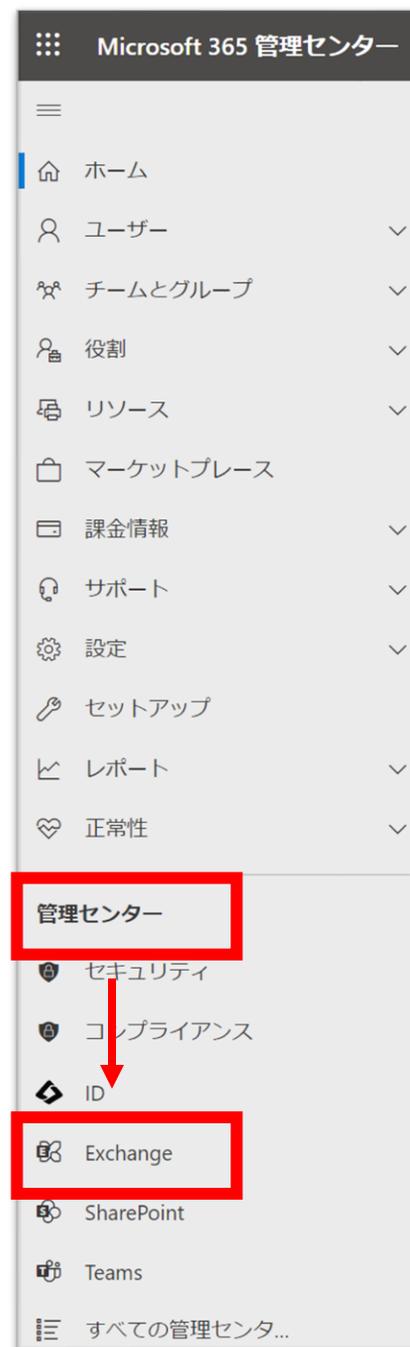
1. 管理者権限を持つアカウントでMicrosoft 365へログインします。

2. 「管理」をクリックします。



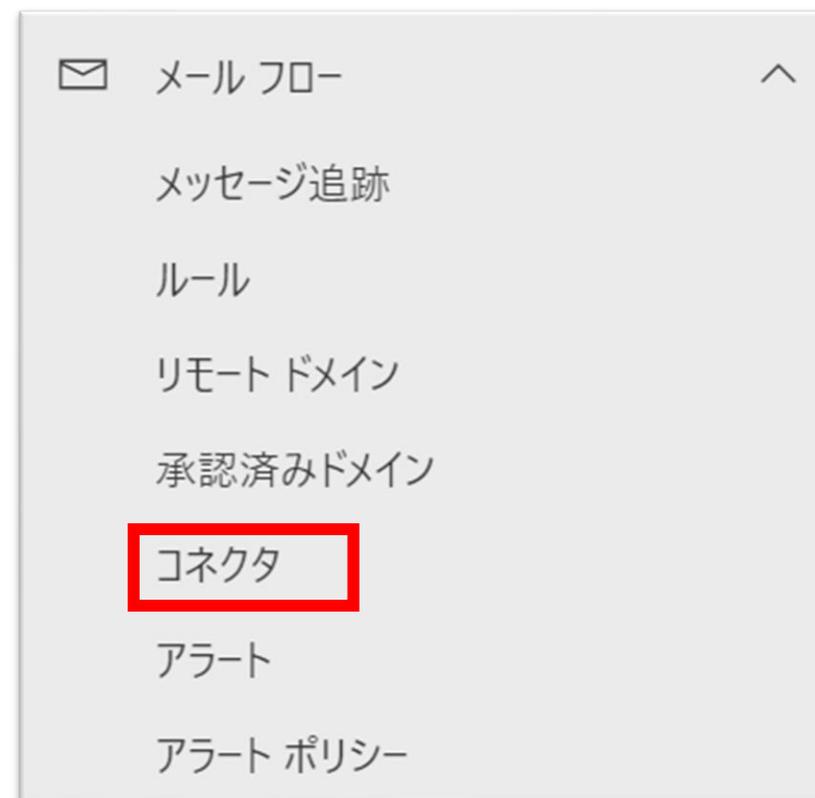
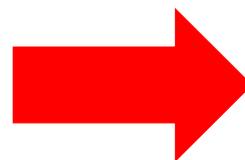
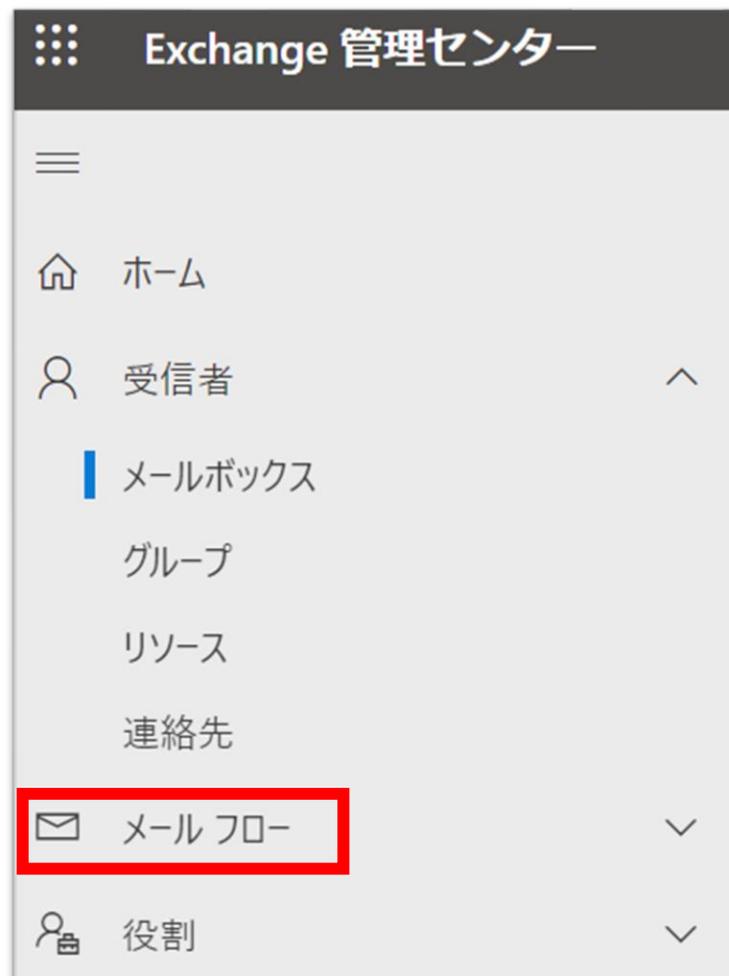
# 設定手順

3.[管理センター]-[Exchange]をクリックします。



# 設定手順

4. [メールフロー]-[コネクタ]をクリックします。



# 設定手順

5. 「コネクタを追加」をクリックします。

The screenshot shows the Exchange Management Center interface. The top navigation bar includes the 'Exchange 管理センター' title, a search bar, and icons for home, notifications, settings, help, and user profile. The left sidebar contains navigation options: Home, Recipients, Mailboxes, Groups, Resources, Contacts, and Mail Flow. The main content area is titled 'コネクタ' (Connectors) and includes a breadcrumb 'ホーム > コネクタ'. A message states: 'ほとんどの組織ではコネクタを使用する必要がないため、コネクタを作成する必要があるかどうかを確認することをお勧めします。' (In most organizations, you don't need to use connectors, so we recommend checking if you need to create one). At the bottom, there is a '+ コネクタを追加' button (highlighted with a red box), a '最新の情報に更新' button, '9 個のアイテム' (9 items), and a search bar.

# 設定手順

6. 接続元に「パートナー組織」、接続先に「Office 365」を選択し、「次」をクリックします。

コネクタを追加

- 新しいコネクタ
- 名前
- 送信メールを認証する
- セキュリティの制限
- コネクタを確認する

## 新しいコネクタ

メールフローのシナリオを指定してください。コネクタを設定する必要があるかどうかをお知らせします。

接続元

- Office 365
- 組織のメールサーバー
- パートナー組織

接続先

- Office 365

# 設定手順

7.コネクタ名に「MAILGATESΣ 受信コネクタ」と入力し、「コネクタの保存後に、何を行いますか？」はオンを選択したまま「次」をクリックします。

### コネクタを追加

- 新しいコネクタ
- 名前
- 送信メールを認証する
- セキュリティの制限
- コネクタを確認する

## コネクタ名

このコネクタを使用すると、パートナー組織またはサービス プロバイダーが安全に Office 365 にメッセージを送信できるようになります。

名前 \*

説明

コネクタの保存後に、何を行いますか？

オンにする

# 設定手順

8. 「送信側サーバーのIPアドレスが、パートナー組織に属している次のIPアドレスのいずれかと一致することを確認する」を選択します。

コネクタを追加

- ✓ 新しいコネクタ
- ✓ 名前
- 送信メールを認証する
- セキュリティの制限
- コネクタを確認する

## 送信メールを認証する

Office 365 がどのようにパートナー組織を特定するかを指定してください

Office 365 がこのコネクタを通してメッセージを受け入れるのは、パートナー組織を次の 2 つの方法のいずれかで特定できる場合のみです。

- 送信者のドメインが次のドメインのいずれかと一致することを確認する
- 送信側サーバーの IP アドレスが、パートナー組織に属している次の IP アドレスのいずれかと一致することを確認する

例: 10.5.3.2 または 10.3.1.5/24

+

## 設定手順

9. 弊社クラウドサービスで使用するグローバルIPアドレスをすべて「+」ボタンから追加後、「次」をクリックします。

弊社クラウドサービスで使用するグローバルIPの情報

<https://cloud-sup.cybersolutions.co.jp/hc/ja/articles/360040620872>

# 設定手順

10. 「メールメッセージがTLS経由で送信されていない場合は拒否する」にチェックをつけ、「次」をクリックします。

コネクタを追加

- ✓ 新しいコネクタ
- ✓ 名前
- ✓ 送信メールを認証する
- セキュリティの制限
- コネクタを確認する

## セキュリティの制限

適用するセキュリティ制限を指定してください。

- メールメッセージが TLS 経由で送信されていない場合は拒否する
- また、パブリック Office 365 で認証に使う証明書の件名がこのドメイン名と一致している必要があります

例: contoso.com または \*.contoso.com

# 設定手順

11. 設定内容を確認し、問題がなければ「コネクタを作成」をクリックします。

コネクタを追加

- 新しいコネクタ
- 名前
- 送信メールを認証する
- セキュリティの制限
- コネクタを確認する

## コネクタを確認する

メール フローのシナリオ

接続元: パートナー組織  
接続先: Office 365

名前

MÄILGATES Σ (受信)

状態

保存後にオンにする

[名前を編集](#)

パートナー組織を特定する方法

パートナー組織を特定するには、メッセージが次の IP アドレス範囲からのものであることを確認する:  
59.84.175.224/27,120.137.171.0/25,27.121.5.128/25,59.84.175.64/26,42.125.229.64/26,168.138.36.14,168.138.33.163,158.101.76.206,158.101.133.234,158.101.66.113,168.138.35.166,168.138.36.6,168.138.37.113,168.138.218.72,158.101.93.181,158.101.72.125,138.3.217.212,138.3.218.24,140.83.56.237,140.83.86.186,133.186.38.0/24,133.186.39.0/24,150.230.96.124/32,150.230.100.173/32

[送信メールのアイデンティティを編集](#)

セキュリティの制限

メッセージがトランスポート層セキュリティ (TLS) を使用して暗号化されていない場合は拒否する

[制限を編集](#)